繪本野山草

三

49

畫本野山草巻之三目録

鷄頭　玫瑰花　むくげ花 まめ茄子　沼あやめ
清蘭草　しんこ花　草額　白糸草
梅子 雪山 大坂 紫 孔雀 白一重咲 しべぼたん 吹合 白象 唐梅子 底紅 小倉 南京　錦葵
びよう　萱草　紫陽花　山紫
秋葵　草山吹　東菊　旋草
蒲公英　鬼荊　草蓮花　白虎尾

硝子虎尾　澤瀉　八重沢瀉　星草

三川柏　秋海棠　鳥甲　曙草

野菊　溝荻　がく草　千日紅

檜扇　藤梅子　ふうせんとう　七輪草

羅生門　日車　残菊

鶏頭花

玫瑰花（まいくわいくわ）
むらさき濱茄子（はまなすび）

泥（ぬま）あやめ
花エンニク
キヲイアイクヽ
生エンニレカクル
キ
花コン
キ

清蘭草（せいらんさう）

きんこ花

苍ゴフン
生エンシレ〃〃

草瀕（くさぐ）

白糸草（しらいとさう）

苍白

鶏冠花

三月苗生ず夏秋さかんなり花に大小あり大ハ一尺余色三いろ又五いろ又高さ一寸ばかりあり又は
赤きハ元種のごとく黄色ハうこんの染色のごとし紅花色しぼりなど
かうけいとうといふハ白赤まだらにしてゑびにたる色しぼり入たるもあり
くろき又小さき花を多くつけちいさきまりのごとくひらくもあり又やり花ひとつあり
このかうけいとうりて草の形りくさぐさ是二色あり三月より十月まで
ある又やけいといふハ白花のとさかのかたちあり又は紫色のもあり

鶏冠有紅白二色又有一枝上秀出五色者甚佳
又木紅者一名壽星雞冠即矮脚雞冠亦有紅白
二色或云即玉樹後庭花也其葉甚肥可入饌

玫瑰花 三月四月ひらく

荊せうびのるいなり花ハあをむき花ハ紫ひとへ大
りんにして芍薬のごとく実ハ丸くおさくしとりんごのごとくう
まん色にしてほそくして多く葉又たいよりまさりて緑色を
○時移が同るさ二三尺枝く多くみあり葉せうびに似たり

まのごとくありて四月にひらく大なるハ梅のごとくまた
うすくれなゐハさうびのごとくしぼみぬ香うしなハざるなり

玫瑰花甚香喜壯宜不時分種方盛年久則
槁花作糕佳又有黄花者亦佳但不香耳

花桔梗 漢名 泥菖

花ハ六月にさきまたやゑもあり又ひとへもあり色とひとつ
あまた数おほし茎ハ又ひとつに色あり
うけらく咲大なりんさきまたけしきといふもあり又は
すみれちいさき桔梗といふハ桔梗よりも細く斑入又ありけ
たてがりの花合といふハ地白まうえ桔梗よりほそく又紫の
あり又紫ハ地白ふうんえ紫の色あり又ひとつの中にひとつのしぼり細れ
まとの六地白ふるもののすじありてかくれたるものあり
あかき遠色数百種をとりどりにつくされたるなり

せいらん草

たるものくちらゑ門のごとく色うすくさきあり
葉ハそのまゝのきよく似たり葉に斑入又有されあり

撫子 なでしこ
大坂
くるまなでしこ
雪山

吹合
白糸
唐なでしこ
南京

錢葵（ぜにあふひ）

びよう草

志んでぞひ
水巴戟

花志のごとくにてその花をむすべよりさきに出し白く
ひらくなどとおいろいろあるなじくなりなり葉八秋冬共のよ
とく地浮ふいげのきんこけるともらふ二三ねらしさく

草がく　又云月花

花ハ色あるく字のよ字綵なるびらの大なるをむさく
そうちくさみる色なり大なるものそでぐくのふたるなりしたる宮あす

白藻草
漢名　秦艽

花葉ハとしふ志やうじ種のごとくしたる
八根ハしちぢひあり花種ふたかし七八月あさく

あづく志て入りより云わと

紫一寸たれあるをとするがとらふるもの色ふる子挿子とる
もちら白一寸大つちんきをふるを大さたとらふ同し中
つちんを小さたとこかしうりて八寸ちんを紅せんさたと
とるひね一寸を蘭京とらふ是ハ八寸うる文らひとるをするなれども
まくとらふ花ふ一寸八寸る白よ紅志ぶりを殉かしたとぞ云是ふ似く
志ぶりよくさきとふうたをとる色しめとらふ地白よ蔓紅ずてこ志ぶ
つるふる寸たをたてさりとらふ白一寸中つちんさきつふくさをと白系と

いふ又志らしいふふ白百寸をさうきよく中つちんさきまる白ちゅうくえ花
牡丹咲くと浅ちとらふ又紫の色ちとしく云ね十寸を中牡丹咲くと花
ころらふ白き極大つちんを蕊を紅とらふ寸をまき大さたとするらじしとら
紫ふねふ寸をずるんざたをむさうしのとらふ文是よりさようた牡丹咲る
うらおうしらと云蔓紫ふ八寸を大つちんさきを志でくようたを花白く
いふそをかめづらしさうるで志て一寸を八寸を十寸を百寸をふ寸を数百
絡あり葉よつくしげくく又おそでしとみく挿子をとわれもおる

○蘧麥（爾雅）巨句麥（本經）大菊（爾雅）大蘭（別錄）石竹（日華）南天竺草
綱目弘景曰子頗似麥故名瞿麥○時珍曰按陸佃
解韓詩外傳云生于兩旁謂之瞿此麥之穗旁生故
也爾雅作蘧有渠衢二音日華本草云一名燕麥一
名杜姥草者誤矣燕麥即雀麥雀瞿二字相近傳寫
之訛爾○瞿麥生大山山谷立秋採陰乾

萱草（くゎんざう）

紫陽花（あぢさい）

秋葵

山紫（やまむらさき）

残葵　小葵　菟葵

葉秋戎葵に似て小さし花大さ銭のごとく楊葵の花よ似てより色白きもありさく三四月入だり
従花ハてりあいくより出葉つんすりきのく四月入たり

びやう柳　金糸桃

花黄色にて桃のごとく長くしべ多くして糸のおとし葉ハ柳のごとし又あゆふして糸だし葉ハあまた封きそえて延ん誰ふなり

金絲桃花如レ桃而心有ニ黄鬚ー鋪ニ散花外ー若ニ金絲ー然亦似ニ根下劈開ー分レ種三四月花開

くりん草

むいろふくこんりくちゆりんむのごとし葉まりふ似く太む三月

紫陽花

志ろ花立をくくまりよ似て葉又ニ葉あく対して似より又くちハ桜ふ似くてまり花のごとく花あり咲牡丹一つりんの大さそてまりのごとし又大小あり花八らき白中ハあさぎ又小ハ出ふよしてあし文色ひろうすねる黄なりてみなたるひしく

山紫

小志ろきぶの本よ似く枝志でれてむハかしこさくすりよりちがひ
四月咲秋葉る色ふ花は葉ふきれしく葉生よめ子のごとくわむろいつ

あさ葵

一名りくぞ又しろくあきもいふむのうちち又ね葵と日
葉ふれりくちとりりあしとあをひハ方りきちん花のごとく赤く長し葉ふり
大小ある大ハ一尺余又茎もくそこりくとがり又のちぢりあるとかり
あきもきと他し秋をぞ出し花れ花むく黄白くして花なり
うらさ葉ふのさうひをと中の志んふそううまりじむよふしろ色あの
ちよその量りしむ秋の葵といへども夏の末頃より七月りまで
さく葉る六七寸へばり○葵の種類あし葉のあるを蜀葵と云花
の小なりを錦葵或ハうし葵と云むあかきとおお葵といへり○傾日
黄葵つねよ葉ふさとりさふけく日よ向く
そ根をてらさん○日向葵をいへり○衛足左傳葵猶能衛其足といへり

集解○禹錫曰黄蜀葵近道處處有之春生苗葉頗似蜀葵而葉尖小多刻缺夏末開花淺黄色六七月採陰乾之○宗奭曰黄蜀葵與蜀葵別種非是蜀葵中黄者也葉心下有紫檀色摘下剔散日乾之

秋葵一名黄蜀葵説文黄葵常傾葉向日不令照其根賓絮韓渥各有賦花将落以筋取浸菜油内治湯火瘡甚妙

碇草（いかりさう）
東菊（あづまぎく）

草山吹（くさやまぶき）

蒲公草

鬼薊

山吹草　このはなのかたちやまぶきのごとくにていろはきいろなり

金糸梅　あづましき葉ハひろく葉ハ野蜀葵に似たり三月なかばにさく

小青草　ながばま菊　葉ハ菥蓂のごとくくきまろくしなやかなるもの又ちひさきもあり

はいろこさくのぶくれ花小さく又なかゞりよもいろ二ありむ咲

いかり草　漢名　淫羊藿

花のかたちいかりのごとし色はむらさきうすむらさきしろなど

葉ハちいさく葉ハひげにて茎葉あさくもしまるさく白

このあり三しなとも葉ハ大ちいさきいかりかたちなり

たんぽゝ

この花のかたち菊に似たり茎に花はうゝ葉のおふしくせふ大

かりくらうぶんたのごとくさくりみそうりたふを出し縁て霜をと

けしくそのさきむかさきのつぼみをなすに色黄又ハ白き又赤きもと

いくども今ゝまんべんに花をより咲ところくゝ事くハ三月よりさく

蒲公草舊不レ著二所レ出州土一今處處平澤田園中皆有レ之春初生レ苗葉如二苦苣一有二細刺一中心抽二一莖一莖端出二一花一色黄如二金錢一斷二其莖一有二白汁一出

人亦噉レ之俗呼爲二蒲英一一名搆耨草甘平無レ毒主二婦人乳癰腫一水煮レ汁飲レ之及封レ之立消

たうざゝ　漢名　薊

三月なかばまでに花咲又大なる秋さくもあり又くさもありて八月より九月まで花咲あざみなり

花ハ数多し白あるひハ紅紫あるひハきいろ紫白又かれ

色々ありむらさきはねいろあり白はちゃねのされ

すけたりむかけたるはしのさきさわけあり二様あるもと

よ至極よろしきものなり白黄だるらよりふたり中心

大つまん葉ハつるのあざらしとはじよく培バ至極

おゝりするぬりまこ天竺なるとりのもしたり利

新鮮あざやかとしふかくなるはしもり大なり

このなの色々あり むらさき葉ハつるのまへよりはさしふく

年々第のたぐひのもとうるおゝしてさかずち摘あをさき目をもと

ろうせりまるこし茎ろうろのなかさら次そしめつくろうはれ

のいろゝやりなかしいふかりまくあのむかりさうしくべはるに

切れみりうらちしみあなさくを洗に茶ともいふなり

草蓮花（くされんげ）

白虎尾草（しろとらのおさう）

稍子虎尾（ひいどろとらのを）

沢浮（さもごう）
八重（やえ）沢浮（さもごう）

星草（ほしくさ）
三柏（みつかしは）
花ゴフレ
白六クて

草蓮花（又同名あり）

葉のかたちハ蓮のごとくにして小さく、花のかたちのびて葩あり。くらきいろのごとくにして花のごとく、むらさきの花より志ろき小さき花さきて、茎なきものなり。ひとくきさく。

虎尾（とらのお）

葉ありて山藍葉に似て白き花咲、すゑに穂をなして虎の尾のごとし。いろいろの葉ハこハく志ろくさく。

剪艸（せんさう　又ちどりさう）

うす紫のひとへの花ひろくさきあり。

まんどころ　又るとうろのおのぶとも云

葉の形ちくのこぎり色ひかりつやある葉に対あり。むの色あかき葩五出の葩して六月ちいさく花をひらく。又白き花もあり。ひとへにして花ハ七八月さかり咲。

澤瀉花（おもだか）

えだくらへりはじめ茎より車形に隙くよつかくなるかたちハ二つにわかれ、葉のかたちハ白く花をひらく。六七月花咲、又白くして花ハ四つへんあり。

慈菰生ニ江河及江東近水河溝沙磧中一。味甘微苦。寒無レ毒。葉如ニ剪刀形一。茎幹似ニ嫩蒲一。又似ニ三稜一。苗甚

軟。其色深青緑。毎レ叢十餘茎。内抽ニ出一二茎一。上分レ枝。開ニ小白花一。四辧蘂深黄色。根大者如レ杏。小者如ニ杏核一。色白而瑩滑。五月六月七月採レ葉。正月二月採レ根。一名剪刀草。一名白地栗。一名河鳧茨

穀精草（こくせいさう）

田の中に生ず。小さく葉せきせうのごとく、花針のかしらのごとく、白くしてひかりあり。はなハ茎の末にさく。

○蘇頌が穀精草ハ田の中に生ず。二三月に葉を生じ、細茎高さ四五寸、茎の末に花をひらく。白くして小さく、乱星のごとし。

三ツりしハ

漢名瞻艸（せんさう）

葉のかたち細くして、花ハ二三月むらさく。

○釋名　戴星草　文星草　流星艸

秋海棠（しうかいだう）

烏甲（とりかぶと）

苍白青

大ホシハエンレ
小ホシハヲウド
野菊
苍コンレエシレノ名
日ウラクサノ名
スレ日

秋海棠 七八月さく

葉はあゐくきとひぢにあり葉のつらなりいろあり茎うすきいろなり四弁花二弁ハ大に二弁ハちいさしうら黄のつらありなかにしべうすきいろなり

秋海棠舊傳為₂爛腸草₁。近日見₃人取₂梗去₁皮蘸₂糖霜₁吃。頗清香。其花艶麗可ㇾ愛

とりかぶと 草烏頭 八九月さく

葉はきくの葉に似てあゐくつなるきれぬけしむのうらあをしたのごとし花ハるり白桔梗のこいろなり又蔓草ふなるもとありつるものふ葉さらしまたくさきもまつりこのみ小えだ出るなる八るりいろなりけり

みそはぎ 鼠尾草 六七月さく

葉の形長丸し対生す葉のかたちふたまたなり六弁花なり又みの花と咲てへちがひく花色あかりしてからをむるり芽立萩のごとし穂つくこの下葉又みぞの流れに多く生ず

別録曰鼠尾生₂平澤中₁。四月採ㇾ葉七月採ㇾ花陰乾。弘景曰田野甚多。人採作ㇾ滋染ㇾ皂

唐あぢさゐ がくさう 六月咲

本もと葉もつげに似て花ハあぢさゐに似てしろく花のうちに花をそなへしく枝すりまた蓋さくひらく時へうら紫陽ともいふ六月なを枝さくむれ挿座なる時節まではるかしくそくあかり也又がくさうともいふ

あはぶの菜

葉あぢさゐに似てまるくおしひろし花のうちら柿の花のごとく白花一重花の先とがりてうらふむびら二瓣又六弁ばかりもあり葉のありよりをしれそで花数さくつくりなり吉野静ともいふ六七月なりけれさく

千日紅 六月さく

葉あゐく茎むらさきの色つり又葉の末より花一つあんじきくのうちに丸くいろ紫玉極つくりの上の色かりてまた日紅の名あり白あるも花紫なり同し

ひあふぎ 又六月

をびくうちこひ桔梗ちいさし花ふしなくさも又花の形しすしまさ黄いろなりまき葉ふうれ白きすじ入むな黄まじりなしをたり

葵揺 又六月さく

葉川柳の葉に似てあゐくつやなる花ま紫色二重なるをびくみ川なのうへ小さくまりまさく又濱なるくしくとといふ

千日紅（せんにちこう）

檜扇（ひあふぎ）

藤撫子（ふじなでしこ）

かうせひとう

七輪草（しちりんさう）

羅生門（らしやうもん）

日車草（ひぐるまさう）

丈菊（ぢやうきく）

日向葵（ひうがあふひ）ともいふハ高（たけ）七八尺、花の大さ七八寸ばかりにして菊に似たり。黄色にて心（しん）ハ紫にして、朝（あした）ハ東に向ひ、日中（につちう）にハ南に向ひ、夕陽（せきやう）の比ハ西に向ひ、太陽を追ふによりて日車とも名づく。合歓木（ねぶりのき）ハ夕（ゆふべ）に葉をねぶるとこそ、終夜冥さざり葩（はなびら）を抱む。むかし丈菊ひとり太陽にむかひ、東坡（とうば）の詩に「李陵（りりよう）衛律（ゑいりつ）陰山（いんざん）に死（し）す、似ず葵花（くわのしん）の太陽（たいやう）を識（し）ると」いへるをひ比七八すゝむ

あらせいとう　三月
紫羅欒花（しらうんくわ）　さく

葉のかたち柳葉（やなぎざ）のごとくしてひろくやはらかにして白粉（こ）ふく。茎（くさ）ハしろくふとくうつくし。はなびら四枚（しまい）にして紅（べに）むらさきあり、又白もあり。その後に皂角（さや）をむすぶ。豇豆（さゝげ）のごとく、よまでなりうすくあをく、さゝげのちひさきやうなり。実をうへわちゆるなり

七つまん草
九輪草（くりんさう）
旋節花（せいすいくわ）　えうもくさく

花のかたちちさくて葉のごとくうまく葩（はなびら）ひらく。志ほれ立（たち）まはりさく。志ほれふとく立のびぶんぐ咲（さく）色数あり。白ねあるひハゆきさきいろげんじ又うすむらさき咲（さく）ことあり。してなまびらふる花を源氏（げんじ）九輪草といふ

羅生門（らしやうもん）草　三月

なふかりをとりつむしのなまのごとし、なふおどり葉のそろひしてすこしながくうすし。茎蔓（くきつる）はなれく、ふせ媼しより根（ね）をそろしはびまそれ

(seals)

残菊(ざんきく)

花白マシナカヽヲウノクヽ
ウラサキヨリエンシクヽ